

一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター

登録マーク使用規定

一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO 審査登録センターをご利用いただきありがとうございます。

当センターでは、ご登録いただきました皆様が登録マークを使用されるに当たりまして下記の通り登録マーク使用規定を定めております。

下記文書は、当センター内の文書を公開用にしたものです。改定・変更等につきましては当センター発行の「ISO ニュース」にてご案内いたします。

登録マークの取り扱い業務をより円滑に行うため、皆様のご協力をお願いします。

1. 目的

当規定は、一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター（以下、センターという）にて各マネジメントシステム審査登録をされた組織が、認証の登録マーク（商標法によるサービスマーク）を使用するに際して、以下の管理方針に基づいた使用許可、使用要件および使用許可手順を規定するものです。

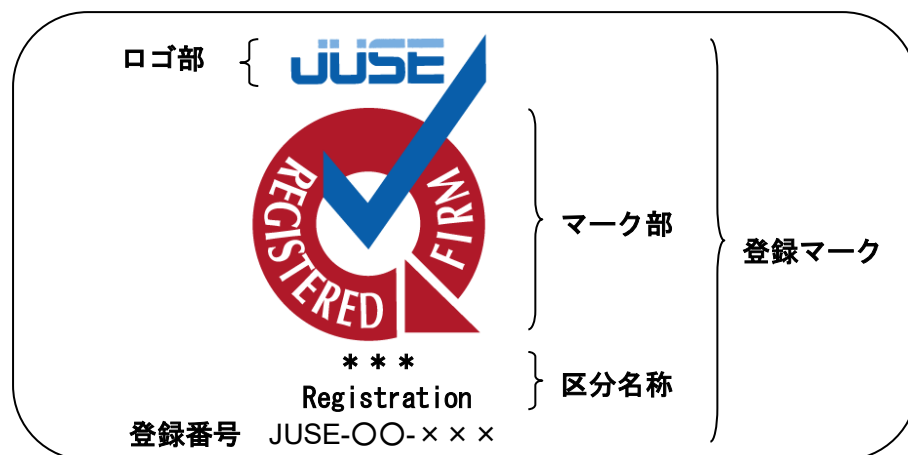
管理方針：社会に対して誤解を与えない公正な審査登録の表明がなされるよう適切に管理を行う。

なお、認定機関の認定マーク使用に関しては、「認定マーク使用規定」に従っていただきますが、認定機関の手順が存在しない場合には、当規定に準拠していただきます。

2. 登録マークの表示

センターの登録マークは図1に示すようにマーク部、ロゴ部、区分名称で構成されています。

図 1



2.1 マーク部の基本は2色表示にし、赤色（DICカラーガイド DIC-197、またはその類似色）及び青色（DICカラーガイド DIC-579、またはその類似色）とします。

ロゴ部の基本は青色の2色表示（DICカラーガイド DIC-579、DICカラーガイド DIC-69、またはその類似色）とします。

他に青単色表示、黒単色表示、ロゴ部分のみの青単色等、単色表示が可能です。

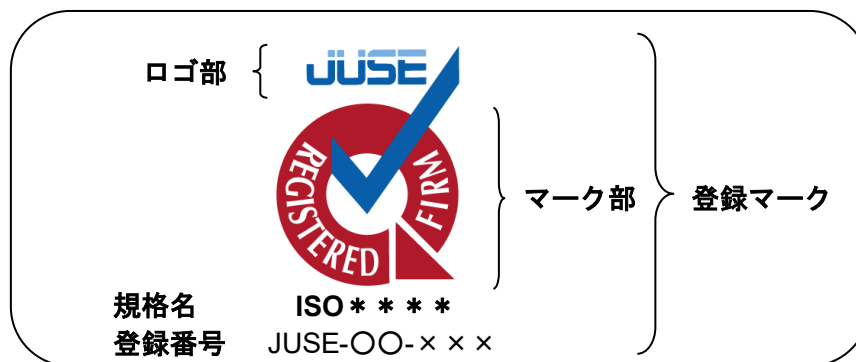
また、区分名称、登録番号は原則として黒としますが、マーク部が単色表示の場合は、区分名称、登録番号は同一色でも可といたします。

2.2 登録マークは必ず、登録番号と共に表示して下さい。

2.3 上記図1以外に、「ISO9001」、「ISO14001」等の規格を表示したマークも使用できます。

このマークは、図1のマークの下部にある区分名称「***Registration」の代わりに「規格名」を表記し、マーク・登録番号と組み合わせて表示したものです。

図 2



2.4 表示例：

図 1 の例 (品質マネジメントシステムの場合)	図 2 の例 (品質マネジメントシステムの場合)
<p>QMS Registration JUSE-RA-0000</p>	<p>ISO 9001 JUSE-RA-0000</p>

2.5 複合登録マーク

複数のマネジメントシステムを登録している組織は、下記の複合登録マークを使用することができます。

図 1 の例 (品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムの場合)	図 2 の例 (品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムの場合)
<p>QMS,EMS Registrations JUSE-RA-0000 JUSE-EG-000</p>	<p>ISO9001,ISO14001 JUSE-RA-0000</p>

3. 登録マークの使用にあたって

- 3.1 登録組織は、当センターの審査登録を許可され、登録マークの使用許可申請を行い、許可された後、当規定に従い使用することができます。
 - 3.2 登録組織は、審査登録の範囲内でインターネット、パンフレット又は広告、若しくは他の文書等で審査登録について言及する場合、登録マークを使用することができます。登録組織以外(審査登録範囲外)で使用することはできません。
 - 3.3 登録組織は、審査登録の有効期限内において登録マークを使用することができます。
 - 3.4 登録組織は、登録マークを個別の製品又は製品の包装に使用することはできません。当センターが審査登録を認めた登録範囲の製品(サービスを含む)又はプロセスが当センターによって承認されていると誤解されるような公表や引用を行わないでください。特に認証された範囲が組織の一部で限定されている場合に、あたかも全社認証であるような表明や認証されていない組織や活動が含まれていると誤解を招くような表明はしないでください。
- また、引用する認証された規格は、正しい規格表記をしてください。

■ 誤った引用例

- ISO9000 認証取得 → 正しい表記 ISO9001 認証取得
 ISO27001 認証取得 → 正しい表記 ISO/IEC27001 認証取得

- 3.5 登録組織が試験所や検査機関の場合、試験所が行う試験・校正又は検査機関が行う検査の報告書は、製品と見なされるのでこれらの報告書に登録マークを使用することはできません。
- 3.6 登録組織は、その登録が一時停止又は取り消しになった場合、当センターの指示に従い、審査登録の引用などすべての広告物の使用を中止して下さい。
- 3.7 審査登録の範囲が縮小された場合は、審査登録を引用している全ての広告物を修正して下さい。
- 3.8 登録組織は、当センター及び審査登録システムの評価を損ない、社会的信用を失墜させるような形で、審査登録されていることを公表したり、引用したりしないで下さい。
- 3.9 当センターにおいて、登録マークのデザイン（マーク、ロゴ等）を変えることがあります。別途ニュース等でお伝えする期間内に、最新のデザインに差し替えるようお願いします。

4. 清刷の使用及び管理

4.1 清刷の使用

登録マークを使用される場合は、センターから清刷（電子データ）を提供いたしますので、「**マーク電子データ提供依頼書**」に必要事項を記入しお申し込みください。なお、当センターから他者（印刷会社、ウェブ制作会社等）へ清刷を提供することは出来ませんので、必要な場合は必ず登録組織の方が直接ご請求下さい。

- 4.1.1 登録組織が、登録マークを印刷物やウェブサイト等に使用する場合は、必ずセンターから提供された清刷を使用して下さい。
- 4.1.2 登録マークは清刷を一体の状態で使用し、その各要素(マーク部、ロゴ部、区分名称)を分解し、個別に使用したり、それらを組替えて使用しないで下さい。
- 4.1.3 登録マークを縮小、または拡大して表示する場合は、縮小または拡大後の各部分を清刷と同一比にし、これを変更しないで下さい。
- 4.1.4 清刷は、解像度を低めるなど、当センターが提供した状態よりも画像を劣化させる改変を行わないで下さい。

4.2 清刷の管理

- 4.2.1 登録組織は、清刷の保護及び漏洩防止に対して、適切な管理を行って下さい。
- 4.2.2 登録組織が他者に当センターの清刷を提供した場合、当該業者に対して清刷の保護及び漏洩防止のため適切な管理を行うことを要求して下さい。

5. 登録マーク使用許可申請

登録マーク使用申請には、以下2点の書類をご提出ください。

(1)「**登録マーク使用許可申請書／許可証**」

(2) **具体的な登録マーク使用の原稿**

申請書類は、該当するマネジメントシステムの登録業務課へ申請して下さい。

また、登録マーク使用許可を受けた組織は、登録マークを使用した全ての具体例を各1部提出して下さい。

6. 「登録マーク使用許可通知」の送付

センターは、登録マーク使用許可申請の内容を確認のうえ、

「登録マーク使用許可通知」にて組織に連絡します。ただし、許可について疑義がある場合は、審査室に依頼し、必要に応じて実地審査を実施いたします。

(1)「登録マーク使用許可通知」には、次の事項を記載します。

- ① 登録マーク使用許可日
- ② 登録番号および登録マーク使用許可番号
- ③ 用途（例：名刺、パンフレット 等）

7. 登録マーク使用許可期間

原則としてマネジメントシステムの審査登録の有効期間に合わせます。審査登録の一時停止期間中は使用することができません。

8. 「登録マーク使用許可」の更新

「登録マーク使用許可」の更新は、マネジメントシステムの登録更新が認められ、これまでに登録マーク使用に関する遵守事項に不備がないものについては自動的に更新されるものといたします。更新を許可しない場合はその理由を明記してセンター所長名で組織に通知します。

9. 登録マーク使用許可の要件

審査登録された組織が、登録マークを使用する場合は、次に掲げる要件を遵守しなければなりません。

- (1) 審査登録された組織のマネジメントシステムの審査登録範囲における標章に利用する。
- (2) その登録マークは、製品や包装に添付して使用してはなりません。また、製品が適合していると思わせるような方法で使用してはなりません。
- (3) マネジメントシステムの審査登録範囲に合致しており、それを超えて使用を行わないで下さい。また、登録された範囲と登録されていない範囲とが誤解されない方法で使用して下さい。
- (4) 名刺での使用の場合を除き、審査登録範囲を明確に表示して使用して下さい。(ただし、全ての部署、全ての活動が審査登録範囲の場合は、表示を省くことができます。)

以上の要件を遵守した上で、具体的な登録マーク使用例は次のとおりです。

- a) 企業紹介パンフレットなど広報活動文書への登録マーク印刷、貼布および解説文中の引用
- b) 企業名入り封筒、用紙などへの登録マークの印刷、貼付
- c) 名刺への印刷・貼付(但し、審査登録範囲の部署に属し、審査登録範囲の業務に従事する方のみが使用できます。)

10. 登録マーク使用に関する遵守事項

登録マークを使用する組織は、「**審査登録契約書**」「**審査登録維持管理のお願い事項**」に基づいて審査登録の維持継続に努めることを前提とします。更に当センターに対して、登録マークの使用に関して発生する紛争などにより損害を与えないよう適正な使用をして下さい。

11. 確認方法

登録マーク使用許可組織の実地的要件を満たしているかどうかの審査を各維持審査で確認します。但し、その際不適と判断する場合には登録マークの使用を拒絶することがあります。

この場合には拒絶理由を通知いたします。また、これに対して意見書により拒絶理由の補正を行うことができます。拒絶理由に該当する行為とは次のような事項です。

- (1) 審査登録された範囲についての業務を行っているとは認められない場合。
- (2) 使用許可要件に合致せず、その業務の内容が不明確である。

12. 違反の処置

広告、カタログなどでマネジメントシステムの審査登録制度を不正確に引用したり、誤解を招くような方法で審査登録証を使用したり、当規定に違反するような登録マークの使用が確認された場合には、当センターは是正処置要求、登録マークの使用禁止、登録の一時停止又は取り消し、登録証の回収及び必要な場合には法的処置を行います。

別 表

		製 品 ※1	製品の輸送時の 大箱等※2	宣伝用 パンフレット等
マークの使用※3	注釈なし	否	否	可※5
	注釈あり※4	否	可※5	可※5

※1 有形な製品そのもの及び個別包装・容器充填された製品等。業種が試験・分析業務の場合は、試験分析成績書等。

※2 ダンボール製の外装等で、通常、最終ユーザーの手に渡らないと考えられるもの。

※3 マークの適用に関するいくつかの基本的な記載を含み、特定された形状を有するマークに適用します。文章のみによる事実の記載はマークに該当しません。いかなるこのような記載も、正確かつ誤解を招かないようにして下さい。

※4 QMS 例：「(この製品は) 品質マネジメントシステムが JIS Q 9001 に適合しているとして審査登録された工場で作られた」旨の明記。

※5 マークの実際の使用に当たっては、当規定の内容を十分配慮して下さい。